

みなかみ町地産地消推進協議会
会長 茂木 直人 様

令和 6 年 4 月 1 日

みなかみ町地産地消・6 次産業化支援調査会
会長 牧野光朗

提言

みなかみ町地産地消・6 次産業化支援調査会は、農産物の加工とブランド化、地域のつながりの強化を目指し、令和 3 年（2021 年）から町内各施設、千葉県いすみ市、長野県飯綱町を視察するなど調査活動を重ねました。

その結果、町内の 4 カ所の主要直売所（道の駅）のそれぞれの長所を最大限発揮できる形で結合を深め、循環型経済への移行を促す必要があると判断します。具体的には以下 7 項目の早期実現を提言します。

- (1) 「豊楽館」を中核にして主要直売所の運営をネットワーク化する。
- (2) 学校給食や介護施設、観光施設等に向けたの食材を提供するための加工場を整備する。
- (3) 耕畜連携や家庭ゴミ処理を含めた循環型の新たなシステムを導入し減農薬・減肥料を推進する。
- (4) 学校・介護施設等の給食の食材について、数値目標を設定して地元調達を推進する。
- (5) 人材育成の観点から、全国町村会との連携を深める。
- (6) ブランド戦略の一環として地酒を復活する。
- (7) 提言の実現にあたっては、少なくとも毎年 1 回、(4) の数値目標を含めて達成状況を調査し、みなかみ町地産地消推進協議会に報告する。

補足：(2)の加工場の整備にあたっては、既存施設の用途変更など、汎用性のある柔軟な運用を目指す。(2)(3)(4)においては、観光業、とりわけ旅館・ホテルなど宿泊施設との連携を深める。